鏡池だより

第４９号
令和3年
（2021年）
10月・11月・
12月
発行：編集
岡崎別院
輪番　福田 大

表面↑
裏面↓

⇒本堂創建当時、御本尊を安置していた箱の蓋

「動座式（どうざしき）」に念（おも）う

右記の写真は当院の御本尊が制作された当時の箱の蓋（表裏）である。今回の動座式ではこの箱に御本尊を安置し、動座式が執り行われた。

蓋の裏には寛政十二（一八〇〇）年の標記があり、今までの二二〇年間の歳月から幾多ものことが想起してきた。

右記の蓋の記載によれば、一八〇〇年に制作されたとあり、この年は、伊能忠敬（いのうただたか）により初めて北海道の測量を始められた年である。翌年一八〇一年に当院の本堂・庫裏が竣工されているが、これより六三年後の一八六四年には蛤御門の変によって、洛中が火の海となり、多くの寺院も焼失した。また、それより五〇年後には第一次世界大戦が勃発し、一九一八年には終戦を迎えるが、同年にはスペイン風邪が全国に蔓延し、多くの感染者により犠牲になられた方も多く居られた。また、一九三九年には第二次世界大戦が勃発し、世界的に多大な戦死者が犠牲になられた。大戦中の京都市内においてもアメリカ軍により京都空襲があり、馬町（うままち）空襲（東山区馬町）・春日町（かすがちょう）空襲（右京区）・太秦（うずまさ）空襲（右京区）京都御所空襲（上京区）西陣（にしじん）空襲（上京区出水）の五回による空襲を受け、百名ほどの方々が犠牲になられ、四〇〇戸以上の家屋が被災されたと、記録にある。また、現在我々は、コロナウイルス感染症の感染拡大、中東での戦争とその戦争を取り巻くアメリカ・中国・ロシアの諸国のなか日本も例外ではない事実に今、我々は直面している。

ご本尊は、戦争や疫病の波乱のなかで、近親者の戦死や疫病での犠牲に苦悩と不安を抱え、仏法を聴聞して来られた方々に寄り添い、「生まれた意義と生きる喜びを見つけて下さい」と願いつづけているはたらきとして、本堂に立ちつづけて居られるお姿である。

ご本尊のお姿は、少し前かがみになり、今にも一歩を踏み出されるお姿である。それは、「もう、あなたの日常をじっとして観ていることはできない」と、私一人（いちにん）を案じ、願（ねが）い、愛していてくださることに他ならない。この私一人への願いに頷け、その願いに背く私自身に頷けたとき、はじめて手が合わさり、頭が下がり、その時に思わず知れず、私の分別を超えて出てくるのがお念仏であると、私は頂いていることである。

「動座式」を厳修するにあたり、時代を超え、性別を超え、老若を超え、民族を超えて例外なく全ての方々に、平等にはたらきつづけている阿弥陀のはたらきに出遇い、お念仏を申されてきた幾多の方々に私は思わず、頭が下がる念いがこみあげてくるのを憶える。

一方では、私自身が、阿弥陀から私一人（いちにん）への願いに念仏を申さる身であるかどうかを今後も、今回の動座式から問われつづける機縁となるのは確かなことである。

十～十二月の法座案内

「歎異抄」を読む
○十月十二日（火）九時半～

「味読正信偈」
○十一月十二日（金）九時半～

「鏡池の集い」
○十二月十五日（水）九時半～

※岡崎別院総合整備事業のため、当院本堂は使用できませんので、京都教務所をお借りして三日講を開いております。ご不便をお掛けしますが、よろしくお願いいたします。

今後の行事についての変更

○十月　報恩講
○十二月　お煤払い
○十二月　歳暮勤行

右に挙げております諸法要につきまして、今年度は岡崎別院総合整備事業が始まり、本堂を含む当別院施設が使用できなくなるため、中止とさせていただきます。

開門時間変更のお知らせ

九月八日以降、準備工事や各種調査の為に整備事業終了まで本堂へはお参り頂けません。

（また、工事車両の出入りなども多くなるため、別院へお車でお越しの際は出来る限り事前にお知らせ頂きますようお願い申し上げます。）

つきましては左記のように時間の変更がございます。

○開門時間午前七時三十分～午後五時
○晨朝勤行、及び各御命日の勤行は職員のみで内勤めとさせて頂きます。
○事務所開所時間午前九時～午後五時
○電話受付時間午前九時～午後五時

但し、急な枕勤めのご依頼、通夜・葬儀のご相談等緊急を要する場合は時間外であってもお受けいたします。お電話を切らずにお待ち頂ければ別院緊急用携帯電話へ転送されますのでご遠慮なくお電話下さい。

（＊万一、電話に出れない場合でも別院携帯電話からお掛けなおしいたします。登録外着信拒否設定などをされている場合は「080-2420-7435」をご登録下さい。）

仮寺務所設置について

岡崎別院整備事業に伴いまして、整備期間中は境内内に仮寺務所を設置します。ご不便をおかけしますが、御用の方は、仮寺務所の一階へお越しください。また、変更点などは随時ホームページ等でお知らせ致しますのでご確認いただきますようよろしくお願い申し上げます。

〈列座のつぶやき〉

動座式に伴い、別院内の整理をしておりますと、大昔にお講で使われていたと思われる資料が出てきました。先人たちが当院を聴聞の場として教えを聞き続けられていたことを実感し、これからも変わらず仏法を聞いていく、その機縁となる別院であらねばと感じております。（松岡）

宗史蹟親鸞聖人岡崎草庵跡
真宗大谷派（東本願寺）
岡崎別院
〒606-8335
京都市左京区岡崎天王町26
電話 075-771-2921
FAX　075-748-1665
http://okazakibetsuin.com
info@okazakibetsuin.com

二〇二一年度
岡崎別院暁天講座（朝の法話）の様子

六月二十五日から二十七日にかけて当院にて暁天講座（朝の法話）が開催された。本年は別院総合整備事業の着工が間近であるため、一か月早い開催となった。感染症対策の徹底の中、三日間合わせて約百人の方にご参詣いただいた。講師と講題は次のとおり。

○二十五日　小川　直人師
「つながり」を生きる
○二十六日　武田　未来雄師
法の不思議
○二十七日　亀田　晃巖師
あなたは大切な人です-御同朋、御同行-

講座にあたりご協力頂いた方々にこの紙面をお借りして改めて御礼申し上げます。
誠にありがとうございました。

二十五日　小川直人師

二十六日　武田未来雄師

二十七日　亀田晃巖師

当日の山門

参詣の様子

工事の進捗状況

○八月
・山門東側築地塀一部解体作業

現在の山門東側

○九月
・本堂仏具搬出（様子は次号にて）
・仮寺務所設置

工事車両用スロープ

仮寺務所設置作業

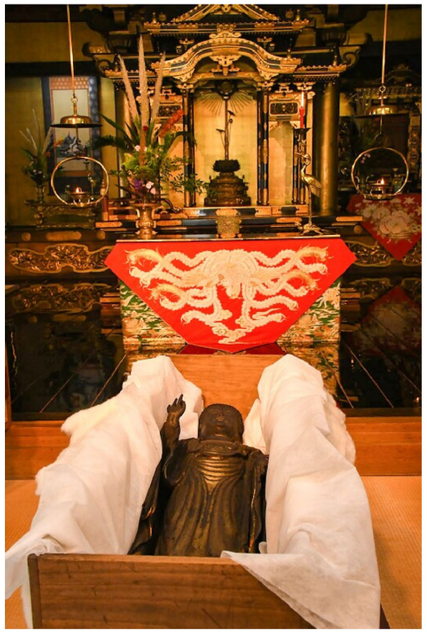
仮寺務所完成

動座式（どうざしき）

九月七日に、御本尊動座式が厳修された。緊急事態宣言中ということもあり、人数を制限し感染対策を徹底した中での開催となった。

勤行の後、別院輪番、仏具をお預かりいただく若林仏具製作所の若林社長、岡崎別院責任役員・整備委員長の亀田氏に御挨拶をいただき、その後動座の儀が執り行われた。

寛政十二年の安阿弥による作と伝承される御本尊は、輪番によって安置箱へとご安置され、参加者が見守る中、岡崎別院を後にされた。



また、動座式後に本堂の仏具の搬出が行われた。須弥壇や宮殿を含むほぼ全ての仏具が動座式後の二日間で搬出された。詳細や様子につきましては、次号にてお知らせいたします。

（動座式写真は当院院議会議員　加藤正人氏　撮影）

責任役員・整備委員長亀田晃巖氏挨拶

若林仏具社長　若林智幸氏　挨拶

輪番　挨拶

役員による御本尊の御動座

御本尊の御動座

勤行の様子

清掃奉仕

7月7日京都総合福祉協会の方々による清掃奉仕が行われた。当日は大雨だったため、本堂や書院の窓を中心に、普段は中々目の行き届かないところまで綺麗にしていただいた。